

## 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和7年7月14日

施設名	高知県立人権啓発センター	所管課	人権・男女共同参画課
-----	--------------	-----	------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県人権啓発センター	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設所在地	高知市本町4丁目1番37号		
事業内容	1. 施設の利用に関すること ・施設利用の許可等 ・使用料の徴収 2. 施設、整備等の維持管理に関すること ・清掃・警備・電気・設備の保守点検等 3. 運営に関すること ・利用者サービスの向上		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など  面積：丸ノ内ビル4F～6F(1,443.81㎡) 施設：4F 視聴覚室(定員48人)(利用前日までに申請(人権に関する利用に限る)) 5F 図書資料室兼閲覧室 6F ホール(定員270人)(利用10日前までに申請) 開館時間：9:00～21:00 休館日：土、日、祝祭日及び年末年始 利用料金：ホール⇒平日(9:00～12:00 8,650円、13:00～17:00 11,570円、 9:00～17:00 18,210円) 平日の9:00～17:00以外及び土日祝(1時間あたり4,330円) 視聴覚室及び図書資料室⇒無料		
職員体制	常勤職員：7人 非常勤職員：5人 臨時的任用職員：1人 合計：13人		

## 2 収支の状況

単位：千円

		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
収入	県支出金	12,047	11,462	12,198
	使用料・手数料			
	その他			
	収入計 (a)	12,047	11,462	12,198
支出	事業費	11,678	11,058	11,783
	管理運営費			
	人件費	369	404	415
	その他			
	支出計 (b)	12,047	11,462	12,198
収支差額 (a)－(b)		0	0	0

### 3 利用状況

	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	12,559	11,515	13,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール利用者の意見箱を平成25年5月から設置しているが、令和6年度にホールの使用に関しての意見はなかった。</li> <li>・ホールの利用を増やすため、季刊誌での広報を行っている。また、ホームページに予約状況や申請書の様子を掲載し、利用者の利便性の向上を図っている。</li> </ul> <p>【視聴覚室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚室は人権に関する会議にのみ利用できるため、利用に関しての問い合わせがあったが許可の条件に合わず利用申請に至らなかったケースが数件あった。</li> </ul> <p>【図書室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDの貸出者へのアンケートを行っており、令和6年度は157件の回答があり、「人権啓発センターに図書室があることを知らない人が多いのでセミナー等の機会に利用促進を進めたらよい」、「図書室から学校や職場にネット配信するシステムを整備してほしい」、「土日や時間外での返却窓口(返却ボックス)を設置してほしい」などの意見があった。</li> <li>・図書室の周知に向けて、講演会などでの利用案内、季刊誌での新刊図書を紹介、研修会で活用したDVDを図書室で貸し出していることなどの広報を行っている。</li> <li>・ネット配信や土日時間外の返却窓口は、費用やセンターが入居するビルのセキュリティなどの問題があり困難。</li> </ul>		
	<p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <p>センターの認知度を上げるための広報を引き続き行う</p>		
	<p>○ その他</p> <p>なし</p>		
③その他特記事項	なし		

### 4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本協定書に基づき、適正な管理運営が行われている。</li> <li>・消防計画による丸ノ内ビル全体の消防訓練を、(社福)高知県社会福祉協議会と合同で行っている。(令和6年度は令和7年2月13日に実施)</li> <li>・平成18年度からAEDを設置(令和2年度に耐用年数を勘案し機器を更新)し、毎年の保守点検や定期的な部品の交換を行うとともに、年1回AED講習会を実施するなど、利用者への緊急時対応に備えている。(AED講習会を令和6年度は令和6年6月28日に実施)</li> <li>・平成24年度に地震対策マニュアルを、ビル全体管理者の(社福)高知県社会福祉協議会と策定している。</li> <li>・再生紙等の購入は「高知県グリーン購入基本方針」に基づいて行うとともに、平成23年度から「高知県庁環境マネジメントシステム」に取り組んでいる。</li> <li>・施設賠償責任保険は丸ノ内ビル全体で加入し、補償範囲や金額、特約等は適切である。 (支払限度額:1名につき1億円)</li> <li>・個人情報の保護については、(公財)高知県人権啓発センター個人情報保護要綱及び事務取扱要領を令和6年4月1日に個人情報保護法に基づき改定し、適正に執行している。</li> </ul>

②利用者サービスの維持向上

- ・下記の事項の整備など、利用者に対するサービスの維持・向上ができています。
- ・小・中・高等学校のほか、地域や団体、イベント開催にあわせて、図書の団体貸出しを行っており、利用者の要望により搬入・搬出、図書の選定も行うことが可能。
- ・ホールの利用案内については、ホームページ上に利用申請書や予約状況を掲載するなど、利用しやすい環境整備に努めている。
- ・スクリーンやプロジェクタ等備品類の貸し出し、無料wifi環境の整備している。
- ・令和6年度は利用者がホールを快適に利用できるよう、ホールの床の改修工事を行った。

③利用実績

- ・ホールの利用は、令和5年度、令和6年度は床の張替修繕等のため、それぞれ1ヵ月半、2か月貸出中止期間があったことから、利用回数が減少している。
- ・視聴覚室は、人づくり広域連合による市町村職員の人権研修で令和5年度は8回利用があったが、令和6年度は利用がなかったこと等により利用者(回)が減少している。
- ・ホール及び視聴覚室の利用者は固定化しているため、利用者を広げるための広報に努めていく。

利用人数(利用回数)の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
6階ホール	13,339人 (180回)	11,309人 (137回)	10,530人 (123回)
視聴覚室	664人 (42回)	544人 (28回)	292人 (20回)
ライブラリー	682人	706人	693人

④収支の状況

- ・前年対比で使用料が減少している原因は、前年度に比べて土日や時間外の利用が少なかったことや、ホールの改修工事による貸出中止期間が長かったためと考えられる。

ホール使用料の推移 (単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
6階ホール	3,607,490	2,485,500	2,196,080

総合評価

B

- ・施設利用者(回)数については、季刊誌やHP等での利用促進を図っているが、昨年度よりは減少している。
- ・丸ノ内ビルの全体管理者である(社福)高知県社会福祉協議会と合同で消防訓練を行うなど、適正な施設管理が行われている。
- ・年1回のAED講習会や(社福)高知県社会福祉協議会と合同で策定した地震対策マニュアルなど、緊急時への備えもできている。
- ・団体図書貸出しやホール床の改修工事など、利用者サービスの向上に努めている。
- ・市町村職員の会合や啓発先等でのリーフレットの配布、また、ホームページでの情報発信など、施設の利用促進に努めている。
- ・以上より、概ね仕様書の内容どおりに適正な管理が行われたと認められる。
- ・ホールの一時閉館の影響もあり、施設利用者数が減少傾向であることから、施設を積極的に利用いただけるよう広報等の取組をお願いしたい。

【評価の目安】

A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの